（様式第２号）

確　認　書

１　県名義の使用申請に際して、次の承認基準に該当することを確認します。（該当する項目の□にレ印を入れてください。）

□　本事業の目的が次の全てに該当します。

ア　子ども・福祉政策に関する県政の推進に寄与すること。

イ　特定の政治的目的又は宗教的目的を有しないこと。

ウ　事業の実施により、暴力団（※）の活動を助長し、又は運営に寄与しないこと。

※　暴力団とは、岡山県暴力団排除条例（平成２２年岡山県条例第５７号）第２条第１号に規定する暴力団をいう。以下同じ。

□　本事業は営利を目的としません。

*営利目的がある場合は、その内容を具体的に記載してください。*

□　事業の規模等が、次のいずれかに該当します。

ア　対象地域又は参加者の範囲が広域的(原則として全県下が対象）であるもの

イ　全国的に巡回して開催されている事業で、広く県民が参加可能であるもの

ウ　その他、特に必要と認められるもの

□　主催者等を構成する団体の役員（※１）が次に掲げる者のいずれにも該当しません。また、県が必要と認める場合には、このことについて岡山県警察本部に照会することを承諾します。

ア　暴力団員等（※２）に該当する者

イ　暴力団又は暴力団員等の統制下にある者

ウ　暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者

※１　役員とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第９条第２１号ロに規定する役員をいう。

※２　暴力団員等とは、岡山県暴力団排除条例（平成２２年岡山県条例第５７号）第２条第３号に規定する暴力団員等をいう。

□　過去に県名義の使用条件に違反していません。（この項目は、過去に県名義の使用承認を受けたことがある団体のみ確認してください。）

２　次の事項に該当することが判明した場合は、県が承認を取り消し、以後は主催者等からの県名義の使用申請に対して承認しないこととしても異議はありません。

ア　県の承認基準に適合しない場合

イ　申請内容に虚偽がある場合

ウ　事業の実施に当たり、違法又は公益を害する等、県が不適当と認める行為がある場合

エ　主催者等について、不法行為等、県が不適当と認める事象がある場合

３　承認を取り消された場合は、その旨を周知し、又は公表している印刷物等から県名義を削除するなど、県から承認を受けていると誤認を生じさせないよう適切に対処します。

４　承認の取消しにより、主催者等が損害を受けた場合においても、県にその賠償を求めることはありません。

　　年　　月　　日

岡山県知事　殿

所在地

（主催者等）　団体名

　　　　　　代表者名